

# 第6次国有林野施業実施計画書

(西毛森林計画区)

計画期間  
自 令和2年4月1日  
至 令和7年3月31日

関東森林管理局

## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	林道等の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	9
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	10
(1)	保護林の名称及び区域	10
(2)	緑の回廊の名称及び区域	10
6	レクリエーションの森の名称及び区域	11
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	15
8	その他必要な事項	16
(1)	施業指標林、試験地等	16
(2)	フィールドの提供	17
(3)	森林共同施業団地	18
(4)	その他	19
附属参考資料		
(1)	国有林野の現況	20
(2)	機能類型別の国有林野の現況	22
(3)	林道等の現況	23
(4)	収穫予想表	23
(5)	地元施設等の現況	23

## 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

## 2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

### (1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

### (2) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

施業群	細分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
	ヒノキ分散伐区	702.86	〃	50
	アカマツ分散伐区	53.20	〃	50
	カラマツ分散伐区	1,699.20	〃	50
	オオタカモデル森林 林種改良	149.73	オオタカモデル森林管理経営計画書による	スギ45年 ヒノキ・アカマツ50年
長伐期	スギ長伐期	883.76	森林の管理経営の指針による	80
	ヒノキ長伐期	402.38	〃	80
	アカマツ長伐期	1.40	〃	80
	カラマツ長伐期	1,272.47	〃	80
	オオタカモデル森林 長伐期	1,265.13	オオタカモデル森林管理経営計画書による	80
複層林	スギ複層林	913.09	森林の管理経営の指針による	45～90
	ヒノキ複層林	516.97	〃	50～100
	その他複層林	29.40	〃	50～100
天然林・その他	ぼう芽分散伐区	652.36	〃	25
	天然生アカマツ分散伐区	46.93	〃	50
	天然林複層伐区	2,278.23	〃	70
	択伐	7,902.68	〃	回帰年は定めない
	オオタカモデル森林 生息環境保全	539.30	オオタカモデル森林管理経営計画書による	回帰年は定めない
	その他	225.19	森林の管理経営の指針による	定めない
設定外(注1)		510.87		定めない
合計		21,505.72		

(注) 1 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。

2 面積は林地面積を計上している。

## (3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位 : ha)

施 業 群	上限伐採面積	備 考
通 常 伐 期	423	スギ分散伐区 (162) ヒノキ分散伐区 (70) アカマツ分散伐区 (5) カラマツ分散伐区 (170) オオタカモデル森林林種改良 (15)
長 伐 期	239	スギ長伐期 (55) ヒノキ長伐期 (25) アカマツ長伐期 (0) カラマツ長伐期 (80) オオタカモデル森林長伐期 (79)
複 層 林	156	スギ複層林 (101) ヒノキ複層林 (52) その他複層林 (3)
天 然 林・そ の 他	1,165	ぼう芽分散伐区 (130) 天然生アカマツ分散伐区 (5) 天然林複層伐区 (163) 択伐 (790) オオタカモデル森林生息環境保全 (54) その他 (23)
合 計	1,983	

(注) 備考欄は、施業群の細分で ( ) は細分個々の上限伐採面積である。

## (4) 伐採総量

(単位：㎡)

区 分			林 地					林 地 以 外	合 計
			主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ			—	8,571 (104.14)	8,571				
自然維持タイプ			—	—	—				
森林空間利用タイプ			—	2,527 (30.67)	2,527				
快適環境形成タイプ			—	—	—				
水 常 伐 期	通 常 伐 期	スギ分散伐区	10,827	47,711	58,538				
		ヒノキ分散伐区	3,702	15,522	19,224				
		アカマツ分散伐区	—	1,480	1,480				
		カラマツ分散伐区	4,045	52,088	56,133				
		オオタカモデル 森林林種改良	—	582	582				
涵 養 期	長 伐 期	スギ長伐期	129	18,413	18,542				
		ヒノキ長伐期	—	8,720	8,720				
		カラマツ長伐期	—	20,812	20,812				
		オオタカモデル 森林長伐期	—	30,547	30,547				
タ イ プ	複 層 林	スギ複層林	2,027	22,271	24,298				
		ヒノキ複層林	—	10,140	10,140				
イ ソ の 他	天 然 林 ・ そ の 他	ぼう芽分散伐区	2,032	—	2,032				
		天然性アカマツ 分散伐区	—	1,396	1,396				
		天然林複層伐区	466	13,894	14,360				
		択 伐	—	6,669	6,669				
プ	設 定 外		95,062	5,939	101,001				
	計		118,290	256,184 (2,624.88)	374,474				
合 計			118,290	267,282 (2,759.69)	385,572	19,428	405,000	—	405,000
年 平 均			23,658	53,456 (551.94)	77,114	3,886	81,000	—	81,000

(注) ( ) は、間伐面積(ha)である。

## (再 掲) 市町村別内訳

(単位：㎡)

市 町 村 名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量		
高崎市	14,567	83,581	98,148			
藤岡市	—	11,906	11,906			
富岡市	4,028	3,143	7,171			
安中市	47,455	42,319	89,774			
上野村	7,239	14,293	21,532			
神流町	11,424	36,128	47,552			
下仁田町	18,393	28,901	47,294			
南牧村	5,435	24,496	29,931			
甘楽町	9,749	22,515	32,264			
合 計	118,290	267,282	385,572			

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

## (5) 更新総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	—	—	—	—	272.67	272.67
	複層林造成	—	—	—	—	9.75	9.75
	計	—	—	—	—	282.42	282.42
天然 更新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	—	38.79	38.79
	ぼう芽	—	—	—	—	9.08	9.08
	計	—	—	—	—	47.87	47.87
合 計		—	—	—	—	330.29	330.29

## (6) 保育総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	—	—	4.06	—	763.72	767.78
	つ る 切	—	—	1.36	—	107.71	109.07
	除 伐	—	—	2.66	—	142.40	145.06

### 3 林道等の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	開設	似手萱(林業専用道)	208外	1,000	
		東地蔵峠(林業専用道)	198外	1,720	
		百六(林業専用道)	262	300	
		境沢(林業専用道)	238外	800	
		上妹ヶ谷(林業専用道)	34外	1,000	
		中木(林業専用道)	112外	844	
		中川(林業専用道)	165外	500	
		持倉沢(林業専用道)	37外	3,000	
		桑本(林業専用道)	32	1,000	
		大上(林業専用道)	52外	1,000	
		上白山(林業専用道)	47外	1,000	
小計		11路線		11,444	
	改良	東地蔵峠林道	195外	100	
		東地蔵峠林道水沼支線	202外	100	
		本丸・三ツ丸林道大平支線	218外	100	
		地蔵峠・三沢(三沢)林道	229外	100	
		三沢林道川浦支線	231	100	
		三沢林道三沢支線	227外	100	
		三沢林道大日陰支線	223外	200	
		蛇淵橋林道	236	100	
		相間川林道	206外	200	
		岩氷林道	220外	100	
		滑川林道	239外	200	
		滑川林道細尾沢支線	246外	100	
		滑川林道細尾分支線	245外	100	
		鳴石林道笹平支線	270外	100	
立岩・稲倉(滝ノ沢)林道	23外	100			



基幹・ その他別	開設 ・ 改良	路 線 名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	改良	一の瀬林道	175外	200	
		中川林道	162外	200	
		地蔵峠・三沢(檜尾)林道	158外	200	
		地蔵峠・三沢(地蔵峠)林道	179外	200	
		赤根沢林道	191	50	
		東地蔵峠林道赤根沢支線	184外	100	
		東地蔵峠林道赤根沢分線	192外	100	
		道全林道	144	100	
		地蔵峠林道(一の瀬)	178	100	
		地蔵峠・三沢林道増田川支線	165外	100	
		一の瀬林道トロガ沢支線	174外	100	
		ノクビ沢林道	177	100	
		峠林道	139外	100	
		熊の平林道	121外	100	
		中川林道中川支線	163外	100	
		中川林道五十嵐沢支線	168外	100	
		赤石沢林道	155	100	
		中木林道	112外	100	
		五十嵐沢林道	166外	100	
		乙父林道	61外	100	
		本谷林道	65外	100	
		本谷林道ぶどう沢支線	66外	100	
		中之沢林道サルマキ支線	83	100	
		中之沢(乙父東沢)林道	60	100	
		中之沢林道中之沢支線	77	100	
		中之沢(みみずく)林道	68外	100	
		中之沢林道イオドメ支線	69	100	
		中之沢林道大蛇倉支線	75	100	

基幹・ その他別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	改良	十石峠林道	48外	100	
		本谷林道本谷支線	68	100	
		ぶどう峠林道	84	100	
		仲野沢林道	84	100	
		赤久縄林道	35	100	
		立岩・稲含(高倉)林道	25外	100	
		道平林道	10	100	
		荷倉沢林道	4	100	
		栗ノ木林道	4	100	
		立岩・稲含(栗山)林道	27外	100	
		桑本林道	32	100	
		砥沢林道	51外	100	
		手白坂林道	33外	100	
		堂ノ入林道	18	100	
			小計	57路線	
計	開設	11路線		11,444	
	改良	57路線		6,350	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

#### 4 治山に関する事項

位 置 ( 林 班 )	市 町 村	区 分	工 種	計 画 量
223、224、226、230、232、 246、248、250、253、255、257	高崎市	保安林の整備	本数調整伐	799ha
23、24	富岡市			
108、112、127、129、133、 134、136～140、142～146、 159～161、163、166、177、 179～180	安中市			
49、59、60、64、67、68、 71、73、77～80	上野村			
35、38	神流町			
3～8、10、11、25～27、 29～32	下仁田町			
13～17、45、47、48、 50～52、54～58	南牧村			
87～90	高崎市	保 安 施 設	溪間工	4箇所
104～110、114、118～130、 145～155	安中市		溪間工 山腹工	30箇所 16箇所
4、5	下仁田町		溪間工 山腹工	2箇所 2箇所
5	下仁田町	地すべり防止	山腹工	1箇所
合 計		保安林の整備		799ha
		保 安 施 設		54箇所
		地すべり防止		1箇所

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

## 5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

### (1) 保護林の名称及び区域

原生的な森林生態系からなる自然環境、地域固有の生物群集を有する森林及び希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護・管理を目的として、当計画区では下記のとおり保護林を再編し、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護・管理を図っていくこととする。

区 分	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	特 徴 等	備 考
生 物 群 集 保 護 林	上野檜原 シオジ等	保存地区 290.19	86 全	シオジの天然分布の北限にあたり、シオジを主体とする溪畔林が形成され、溪畔域という特殊な立地における植生遷移が確認できる天然林である。	
		保全利用地区 13.00	85 ぬ2、る3、 の2、け3、 こ3、え3、		
計	1箇所	303.19			
希少個体群 保 護 林	天丸山 ヒノキ・ハコ ネコメツツジ	119.35	59 ぬ～る、 60 は2、～と	岩角地という特殊な立地に、ヒノキを主体とする天然針葉樹林が形成され、林間にハコネコメツツジが生育する群落である。	
計	1箇所	119.35			
合 計	2箇所	422.54			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外すべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

### (2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	面積 ( ha )	位置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	妙義	1,009.28 風景ゾーン 382.78	101 ろ、は、ち	表妙義は、妙義山系の独自の柱状の峻厳な奇岩・巨岩の集団からなり、奇岩群の下に堆積した土壌に原生林が生育し、優れた自然景観が形成されている。	育成複層林へ導くための施業（以下、育成複層林施業という。）	実施主体：国 ・歩道	国が実施する施設整備の計画なし	
			104 い					
自然休養林	妙義	626.50 風致探勝ゾーン	114 い〜ろ3、に、へ3					
			115 い1、ろ1、ろ2、に、ほ					
			101 い、に〜と3、り					
			102 ち、ぬ					
			103 は1、は2、ち〜る					
			104 ろ1〜は					
			105 い2、に1、に2					
			106 い1〜い3					
			107 ち					
			113 い、ろ					
			114 は、ほ					
			115 い2、は、へ、と					
			116 は1〜は4					
			101 イ〜ニ					
			104 イ1、イ2					
			113 イ1、イ2					
			114 イ〜ハ					
			115 イ1〜ロ3					
計	1箇所	1,009.28						

種 類	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察 教育林	小根山 森林公園	91.26	157 ろ、に1～へ16、へ18、 へ20～へ22、と1～と4、 ち2～ち5、ち8～り2、 ぬ2、る1、る3、 る5～わ3、わ5、か1、 か3、か5、か6、か9、 か11～か21、か26、 か27、た2～そ1、そ5、 そ8、そ9、ね1～な7、 な9、な11～な13、 な15～ら2、む2、む3、 う2～の2、の4～お2、 ま4、え2、え3、き2、 み1、み3、し3	明治37年に林業試験地 として開設。昭和30年以 降は見本林として管理運 営され自然学習の場とし て適している。 日本各地の有用樹はも とより多くの外国産樹種 があり、四季を通じて多 くの野鳥が観察できる。	育成単層林 業	実施主体：国 ・歩道  実施主体：群馬県 ・歩道 ・園地 ・展望台 ・鳥獣資料館 ・遊水池	国が実施す る施設整備の 計画なし	
			157 は、へ19、へ23～へ27、 と5、ち1、ち6、ち7、 る2、る4、わ4、か2、 か4、か7、か8、か10、 か22～か25、よ1～た1、 そ2～そ4、そ10、つ、 な8、な10、な14、む1、 む4、む6～う1、の3、 く～ま3、け～え1、 え4～き1、ゆ～め2、 み2、し1、し4、ひ1		育成複層林 業			
			157 い、へ17、へ28、ぬ1、 そ6、そ7、む5、し2、 ひ2		天然生林施業			
			157 イ1～ト		林地以外			
計	1箇所	91.26						

種類	名称	面積 ( ha )	位置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野外スポーツ地域	観音山 スポーツ林	77.31	89 い～る 90 い1～へ2、と～る	中央部（民地）の林間に白衣観音がそびえ、高崎観音として有名である。 この地区は、都市近郊の森林公園として車道、建物園地等が整備され、保健休養の場として地域住民はもとより全国各地の人達に利用されている。	育成複層林業	実施主体：高崎市 ・歩道 ・園地 ・植物園  実施主体：民間 ・園地 ・休憩施設	国が実施する施設整備の計画なし	
			90 へ3		天然生林施業			
			89 イ1～ロ 90 イ1～ハ		林地以外			
計	1箇所	77.31						
風致探勝林	榛名湖	96.60	285 い、は、ほ、り、ぬ	上毛三山のひとつで、秀峰榛名富士を中心とした榛名湖畔にあって風光明媚な景観を呈している。 このレクリエーションの森は隣接する吾妻森林管理署管内の区域と一体となって設定されており、自然探勝、キャンプ、ピクニック等に適している。	育成複層林業	実施主体：国 ・園地  実施主体：高崎市 ・歩道 ・艇庫敷 ・ボート乗場  実施主体：民間 ・ロープウェイ ・園地	国が実施する施設整備の計画なし	
			285 ろ、に、へ～ち		天然生林施業			
			285 イ1～ロ2		林地以外			
計	1箇所	96.60						

種類	名称	面積 ( ha )	位置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
その他 (レクリエーション 森施設 敷)	神の池園地	0.46	28 ロ	単独レクリエーション 施設	林地以外	実施主体：神流町 ・歩道 ・園地	国が実施する 施設整備の 計画なし	
	根小屋城址 展望台	0.18	87 イ1	〃	林地以外	実施主体：高崎市 ・園地	〃	
	根小屋1号 園地	0.02	87 イ2	〃	林地以外	実施主体：高崎市 ・園地	〃	
	根小屋2号 園地	0.01	87 イ3	〃	林地以外	実施主体：高崎市 ・園地	〃	
	西御荷鉾山 園地	1.65	20 イ	〃	林地以外	実施主体：神流町 ・歩道	〃	
	峠見晴台	0.09	127 イ	〃	林地以外	実施主体：軽井沢町 ・ベンチ	〃	
計	6箇所	2.41						
合計	10箇所	1,276.86						



**7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域**

該当なし

## 8 その他必要な事項

### (1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年月	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業指標林	間伐推進指標林	昭和62年4月	1.28	35 わ3	間伐技術の普及及び利用面指標林を重視した間伐を積極的に推進する。
施業指標林計			29.38		
試験地	本谷A種収穫試験地	昭和14年4月	1.99	69 ろ	成長量、収穫量及びその他の統計資料を収集し、林分構造の推移を解明する。
	シオジの天然更新法試験地	昭和57年4月	0.73	80 へ12	天然下種更新によりシオジ二次林の確実な成林が可能かどうかの調査を行う。
	人工造林による広葉樹林施業法試験地	昭和63年4月	0.12	73 り2、り3	更新樹種の特性を考慮した人工造林による広葉樹林施業法について検討する。
	低密度植栽を利用した低コスト造林技術の開発試験地	平成29年4月	9.40	27 わ3～わ9	低密度植栽した大苗を用い、獣害対策としてツリーシェルター及び電気柵を使用し、下刈り省略も考慮した初期保育費用を明らかにするための技術開発。
試験地計			2.84		
展示林	小根山展示林	昭和30年7月	86.80	157 い～ひ2	外国樹種等を展示する。
	細野ヒノキ展示林	昭和63年4月	0.93	182 ろ9	優良な林分の保存、展示をする。
展示林計			0.46		
次代検定林	試植検定林(関前局へ号)	昭和40年4月	2.88	168 ろ3	スギ
	一般次代検定林(関前局44号)	昭和51年4月	0.71	31 う2	スギ
	地域差検定林(関前局45号)	昭和51年4月	0.48	24 の6	スギ
	遺伝試験林(関前局57号)	昭和59年5月	0.96	53 む3、む4	スギ
	気象害抵抗性検定林(関耐寒風前橋11号)	平成2年5月	0.58	179 り2	ヒノキ
次代検定林計			6.19		
遺伝子保存林	アカマツ遺伝子保存林	昭和45年4月	1.50	254 ろ1	霧上松
遺伝子保存林計			1.50		

(2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
89ろ、と、ち、り	ふれあいの森 (OKIグループふれあいの森)	設 定：平成17年6月 実施主体：沖電気工業株式会社 面 積：9.25ha
87る1、る2	ふれあいの森 (さぬ山創造の森)	設 定：平成17年6月 実施主体：NPO法人CCC自然・文化創造 工場関東事業部 面 積：8.67ha
89い、ろ、ぬ1、ぬ2、る	ふれあいの森 (FG21の森)	設 定：平成17年6月 実施主体：NPO法人フォレストぐんま21 面 積：19.45ha
88い～や	ふれあいの森 (観音山丘陵山桜ふれあいの森)	設 定：平成28年4月 実施主体：O.C.B会 面 積：39.81ha
157い～ひ2	ふれあいの森 小根山森林公園ふれあいの森	設 定：平成28年5月 実施主体：群馬県林業技士会 面 積：89.13ha
88ま	ふれあいの森 (連合群馬 ふれあいの森)	設 定：平成30年6月 実施主体：日本労働組合総連合会 群馬県連合会 面 積：4.31ha
76は	社会貢献の森 (立教・21sdcの森)	設 定：平成18年7月 実施主体：特定非営利活動法人 21世紀社会デザインセンター 面 積：2.11ha
145い1	社会貢献の森 (どんぐりの森)	設 定：平成19年3月 実施主体：特定非営利活動法人 どんぐりの会 面 積：1.93ha
250に1、に2、ほそ、つ、ら、う	社会貢献の森 (ドコモ 群馬の森)	設 定：平成29年6月 実施主体：株式会社ドコモCS群馬支店 面 積：6.04ha
87い1～る2	遊々の森 (さぬ山たんけんランド)	設 定：平成15年10月 実施主体：高崎市立南八幡小学校 高崎市立城山小学校 面 積：57.87ha

(3) 森林共同施業団地

名 称	対象地 ( 林小班 )	面 積 ( ha )	協定の概要
烏川流域（源流部）森林共同施業団地	民		合理的な路網の整備、効率的な森林施業の実施。  設定年月：平成29年6月 協定名：烏川流域（源流部）森林整備推進協定 協定期間：令和2年4月～令和7年3月 協定相手方：・磯村産業株式会社 ・群馬県西部環境森林事務所
	国	165、166、177～180、202～236林班	
神流川流域（源流部）森林共同施業団地	民		合理的な路網の整備、効率的な森林施業の実施。  設定年月：平成30年2月 協定名：神流川流域（源流部）森林整備推進協定 協定期間：令和2年4月～令和7年3月 協定相手方：・群馬県上野村 ・株式会社 吉本 ・前橋水源林整備事務所
	国	46～49林班	
南牧村・南牧川源流部森林共同施業団地	民		合理的な路網の整備、効率的な森林施業の実施。  設定年月：平成30年11月 協定名：南牧村・南牧川源流部森林整備推進協定 協定期間：令和2年4月～令和7年3月 協定相手方：・群馬県南牧村 ・南牧村森林組合 ・群馬県富岡森林事務所
	国	53～58林班	
富岡市・立沢川上流区域森林共同施業団地	民		合理的な路網の整備、効率的な森林施業の実施。  設定年月：平成31年1月 協定名：富岡市・立沢川上流部森林整備推進協定 協定期間：令和2年4月～令和7年3月 協定相手方：・群馬県富岡市 ・鏑川東部森林組合 ・群馬県富岡森林事務所
	国	23、24林班	
合 計	民		4箇所
	国		

## (4) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面積 (ha)	施業方法
8 う4 127 ろ、は2~ほ 128 は、に 129 い2、か3	11.19	育成単層林施業
2 に、と、ぬ、る2~わ2 5 よ1、よ2 6 ろ1、ろ2 8 な3、む1~う3、お、ま~け4、ふ 9 ほ、へ、り、る2 28 ま 70 れ 76 ね~ら、う1、の、く、や 88 ま~ふ、え~さ、ゆ~し 124 へ、ち 127 い、へ 128 ろ、ほ 129 い1、に、と、ち、る1、る3、か1、か4、よ、れ、つ~な 130 い、は~ほ、と~ぬ 131 い 134 い	295.99	育成複層林施業
2 い1~は、ほ、へ、ち、り、る1、か 6 い、は、に 8 り、れ、な1、な2、ら、の、く、や 9 と、ち、る1、わ1 15 ひ2 16 よ 17 も 35 し3、し4 39 い、ろ 76 む、う2、お、ま 88 こ、き 124 い1~ほ、と 125 ろ1~と2、り2 126 ろ1~ほ2 127 と~り2 128 い、と~り2、ぬ1、ぬ2、る2 129 ろ、は、ほ、へ、り、ぬ、る2、わ、か2、か5、た1~た3、そ1、そ2、 ら1~く 130 ろ1、ろ2、へ1、へ2、る~た4 131 ろ~に	648.62	天然生林施業
2 イ 5 イ1~イ3 6 イ 8 イ1~ロ2 76 ロ2~ロ7 88 イ~ハ 125 イ1~イ3 126 イ 127 ロ~ハ2 128 イ 130 イ、ロ	16.38	林地以外
計	972.18	

(注) (1)、(2)の箇所を除く。

## 附 属 参 考 资 料

## (1) 国有林野の現況

## ① 担当区別の区域及び面積

(単位：面積 ha)

担当区	関 係 市 町 村	要 存 置 林 野		不 要 存 置 林 野 面 積	官 行 造 林 地 面 積
		面 積	関 係 林 班		
下 仁 田	富 岡 市	394.06	1、23、24	—	—
	神 流 町	67.04	33	—	—
	下 仁 田 町	3,637.52	2～12、25～27、29～32	—	—
	甘 楽 町	609.73	18、19、28	—	—
	小 計	4,708.35		—	—
磐 戸	南 牧 村	3,735.03	13～17、21、22、42、45、47、 48、50～58	—	—
	小 計	3,735.03		—	—
万 場	藤 岡 市	227.89	34	—	—
	上 野 村	1,325.07	43、44、59～63	—	—
	神 流 町	1,699.80	20、35～41	—	90.43
	小 計	3,252.76		—	90.43
檜 原	上 野 村	6,130.21	46、49、64～70、70-1、70-2、 73～86	—	—
	小 計	6,130.21		—	—
松 井 田	富 岡 市	211.06	101	—	—
	安 中 市	5,066.96	102～157	—	—
	小 計	5,278.02		—	—
細 野	安 中 市	2,347.51	158～197、201 い3	—	—
	小 計	2,347.51		—	—
倉 渕	高 崎 市	3,560.25	87～90、198～200 201 い1、い2、い4～い7、ろ～と、 202～285	1.31	—
	小 計	3,560.25		1.31	—
計		29,012.13		1.31	90.43

## ② 保安林、自然公園等の面積

(単位：面積 ha)

種 類	細 分	面 積	備 考
保 安 林	水 源 かん 養	19,246.00	
	土 砂 流 出 防 備	1,855.00	
	土 砂 崩 壊 防 備	160.50	
	落 石 防 止	1.03	
	保 健	600.67	
	風 致	789.77	
	計	22,054.06	
砂 防 指 定 地		5.13	
国 立 公 園	第 2 種 特 別 地 域	178.75	
	第 3 種 特 別 地 域	933.84	
	普 通 地 域	2,058.14	
	計	3,170.73	
国 定 公 園	特 別 保 護 地 区	102.41	
	第 1 種 特 別 地 域	556.85	
	第 2 種 特 別 地 域	719.48	
	第 3 種 特 別 地 域	3,872.13	
	計	5,250.87	
県自然環境保全地域	特 別 地 区	409.54	
	計	409.54	
鳥 獣 保 護 区	特 別 保 護 地 区	396.58	
	特 別 保 護 地 区 以 外	4,426.25	
	計	4,822.83	
都 市 計 画 法 に よ る 風 致 地 区		65.05	
史 跡 名 勝 天 然 記 念 物		308.21	
地 す べ り 防 止 区 域		37.83	

(注) 保安林の「計」欄は保安林種ごとの重複関係を除く面積を計上した。



(2) 機能類型別の国有林野の現況

(単位：面積 ha、材積 m<sup>3</sup>)

機能類型 林種		山地災害防止タイプ					快適環境形成タイプ		
		土砂流出崩壊防備		気象害防備		計			
		面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
人工林	育成単層林	486.28	101,635			486.28	101,635		
	育成複層林	84.77	18,020			84.77	18,020		
	小計	571.05	119,655			571.05	119,655		
天然林	育成単層林	3.17	533			3.17	533		
	育成複層林	174.10	30,987			174.10	30,987		
	天然生林	1,733.92	223,452			1,733.92	223,452		
	小計	1,911.19	254,972			1,911.19	254,972		
無立木地									
竹林									
林地計		2,482.24	374,627			2,482.24	374,627		
林地以外		143.69	120			143.69	120		
合計		2,625.93	374,747			2,625.93	374,747		

(単位：面積 ha、材積 m<sup>3</sup>)

機能類型 林種		水源かん養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合計	
		面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
人工林	育成単層林	9,664.50	2,203,369			280.60	63,845	10,431.38	2,368,849
	育成複層林	753.67	180,238	3.08	573	156.41	30,353	997.93	229,184
	小計	10,418.17	2,383,607	3.08	573	437.01	94,198	11,429.31	2,598,033
天然林	育成単層林	0.82	239					3.99	772
	育成複層林	2,109.18	362,604	5.30	901	102.39	14,803	2,390.97	409,295
	天然生林	8,845.66	1,188,325	1,466.36	243,547	1,458.65	161,712	13,504.59	1,817,036
	小計	10,955.66	1,551,168	1,471.66	244,448	1,561.04	176,515	15,899.55	2,227,103
無立木地		130.73						130.73	
竹林		1.16						1.16	
林地計		21,504.56	3,934,775	1,474.74	245,021	1,998.05	270,713	27,459.59	4,825,136
林地以外		1,125.78	1,655	30.92		250.99	45	1,551.38	1,820
合計		(1.16) 22,630.34	3,936,430	1,505.66	245,021	2,249.04	270,758	(1.16) 29,010.97	4,826,956

## (3) 林道等の現況

(単位：km)

区 分	林 道			林業専用道
	自動車道	軽 車 道	合 計	
延 長	195.2	—	195.2	11.4

## (4) 収穫予想表

29ページ以降に示すとおりである。

森林調査簿の地位級と収穫予想表の地位との対比

収 穫 予 想 表 の 地 位	森 林 調 査 簿 の 地 位 級				
	ス ギ	ヒ ノ キ	ア カ マ ツ	カ ラ マ ツ	その他N・L
1	13以上	10以上	9以上	8以上	3
2	10～12	8～9	7～8	6～7	2
3	9以下	7以下	6以下	5以下	1

## (5) 地元施設等の現況

(単位：ha)

区 分	分収造林契 約に基づく 分 収 林	分収育林契 約に基づく 分 収 林	共 用 林 野			
			普 通	薪 炭	放 牧	合 計
面 積	464.53	54.20	1258.19	—	—	1258.19

貸 地					
植 樹 用 地	農 耕 用 地	鉱 業 用 地	道 路 用 地	水 路 用 地	電 気 事 業 用 地
—	—	—	191.84	2.47	42.73

貸 地					
温 鉱 泉 用 地	学 校 用 地	採 草 放 牧 地	建 物 用 地	そ の 他 貸 地	合 計
0.01	—	—	1.98	59.04	298.07









# 収穫予想表

樹種 針葉樹

年齢級	地位 2				林齢年
	主副林木合計				
	1ha当り			成長率 %	
	幹材積 m <sup>3</sup>	連年成長量 m <sup>3</sup>	平均成長量 m <sup>3</sup>		
I					5
II	5		0.5	17.1	10
III	11	1.2	0.7	12.7	15
IV	20	1.8	1.0	8.4	20
V	30	2.0	1.2	6.4	25
VI	41	2.2	1.4	5.3	30
VII	53	2.4	1.5	4.5	35
VIII	66	2.6	1.7	3.9	40
IX	80	2.8	1.8	3.3	45
X	94	2.8	1.9	2.6	50
XI	107	2.6	1.9	2.3	55
XII	120	2.6	2.0	1.9	60
XIII	132	2.4	2.0	1.6	65
XIV	143	2.2	2.0	1.4	70
XV	153	2.0	2.0	1.3	75
XVI	163	2.0	2.0	1.1	80
XVII	172	1.8	2.0	1.0	85
XVIII	181	1.8	2.0	0.9	90
XIX	189	1.6	2.0	0.7	95
XX	196	1.4	2.0	0.6	100
XXI	202	1.2	1.9	0.6	105
XXII	208	1.2	1.9	0.5	110
XXIII	213	1.0	1.9	0.4	115
XXIV	217	0.8	1.8		120

※成長率はライプニッツ式を用いて算出

樹種 広葉樹

年齢級	地位 2				林齢年
	主副林木合計				
	1ha当り			成長率 %	
	幹材積 m <sup>3</sup>	連年成長量 m <sup>3</sup>	平均成長量 m <sup>3</sup>		
I					5
II	12		1.2	10.8	10
III	20	1.6	1.3	7.7	15
IV	29	1.8	1.5	6.1	20
V	39	2.0	1.6	5.1	25
VI	50	2.2	1.7	4.4	30
VII	62	2.4	1.8	3.6	35
VIII	74	2.4	1.9	3.1	40
IX	86	2.4	1.9	2.6	45
X	98	2.4	2.0	2.0	50
XI	108	2.0	2.0	1.6	55
XII	117	1.8	2.0	1.3	60
XIII	125	1.6	1.9	1.2	65
XIV	133	1.6	1.9	1.0	70
XV	140	1.4	1.9	1.0	75
XVI	147	1.4	1.8	0.8	80
XVII	153	1.2	1.8	0.8	85
XVIII	159	1.2	1.8	0.6	90
XIX	164	1.0	1.7	0.5	95
XX	168	0.8	1.7	0.4	100
XXI	171	0.6	1.6	0.3	105
XXII	174	0.6	1.6	0.2	110
XXIII	176	0.4	1.5	0.2	115
XXIV	178	0.4	1.5		120

樹種 広葉樹(ぼう芽)

年齢級	地位 2				林齢年
	主副林木合計				
	1ha当り			成長率 %	
	幹材積 m <sup>3</sup>	連年成長量 m <sup>3</sup>	平均成長量 m <sup>3</sup>		
I					5
II	8		0.8	27.5	10
III	27	3.8	1.8	12.2	15
IV	48	4.2	2.4	5.9	20
V	64	3.2	2.6	3.2	25
VI	75	2.2	2.5	2.5	30
VII	85	2.0	2.4	1.6	35
VIII	92	1.4	2.3		40
IX					45
X					50

※成長率はライプニッツ式を用いて算出